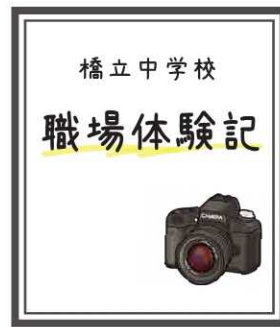


尾関さん



● 橋立中学校職場体験

役場は「役に立つ場所」。

10月12日・13日、職場体験として総務課秘書広報係に来てくれた橋立中学校2年生の齊藤依咲さんと尾関雅維さんの2人。職場体験の一環として、齊藤さんは「かえでこども園で体験していた2人の生徒」を、尾関さんは関心のある「まちの人口」について企画財政課の職員にそれぞれインタビューした内容を記事にさせていただきました。
☎ 総務課 ☎ 43-9010



齊藤さん

常に笑顔を大切に

——保育士を体験しようと思った理由を教えてください。

子どもが好きなので、将来、保育士になりたいと思っています。実際に体験をして子どもたちへの接し方や、子どもが成長できる教育の仕方を学びたいと思ったからです。

——こども園ではどんな体験をしていますか。

先生の子どもへのかわり方や接し方を学んだり、子どもたちと一緒に外で元気に遊ぶ



外で元気に遊ぶ子どもたち (撮影者/齊藤さん)

遊びました。また、体験では、マイナスイメージをしないことや周りを見て動くことを気を付けています。

——この2日間でどんなことを学びましたか。

先生方は、子どもたちが自分の力で成長できるように指導や指導しておられました。また、常に笑顔でいることや大きな声でハキハキしゃべるなど、たくさんこのことを学びました。

——どのようなところにやりがいを感じましたか。

子どもたちが笑顔で名前を呼んでくれたり、「遊ぼう」と声をかけてくれたときです。「ありがとう」と感謝されたときはすごくうれしかったです。

——この経験をどのようにいかしていきたいですか。

もし子どもたちと接する機会があれば、笑顔でいたり自分の力で成長できるようにサポートしていきたいです。

この記事は、わたしが書きました！

さいとう いさき
齊藤 依咲 (橋立中2年)

インタビューに答えてくれる2人の様子から、子どもが好きな気持ちや優しい性格がいままでと伝わってきました。ぜひ保育士になれるようにこれからも頑張りたいです。

2日間、広報の取材や作成、FM告知放送の吹き込み、Instagram用の写真撮影や投稿などを体験しました。役場は、住民の皆さんの意見に寄り添ったまちをつつていくことや広報などで大切な情報を届けるなど、さまざまな面で住民の皆さんの役に立つ場所であると実感しました。



かえでこども園で職場体験していた2人の生徒にインタビューする齊藤さん(右)。緊張しながらも、あらかじめ自分で考えた質問を頑張って聞いている様子が印象的でした。また、「自分の好きな場所をInstagramで発信」では、週末に軟式野球で使っている男山八幡公園グラウンドを撮影し、発信してくれました。

地域と行政が一体となってまちづくりを

——全国で少子高齢化が問題になっていますが、与謝野町の現状を教えてください。

与謝野町でも全国と同じように人口が減少しています。平成18年の合併時の人口は約2万6000人でしたが、今は2万人を切っています。出生や死亡の「自然現象」と言われる要因と、高校卒業後まちを離れて進学したり働いたりする「社会的要因」の2つが重なって人口が減っています。都市部に出た人たちが戻ってくるUターンやイターンの人たちが増えてくると、人口の減りが緩やかになってきます。

——与謝野町ではどんな対策を行っていますか。

人口減少の対策は、「人口を減らさない」「外から呼び込んでくる」「人は減っているけど、今いる人で今のまち



企画財政課の職員にインタビューする尾関さん(右)。少し難しい話にも耳を傾け、しっかりと記事にまとめてくれました。2日間をとおして「楽しかったです」と笑顔で振り返ってくれました。

を支える」この3点だと思えます。その中でもわたしが担当している事業の一つに、人材育成をめざした「よさのみらい大学」があります。人口は減っているけど、今いる人たちのまちづくりへの関心を高め、まちが元気になるように頑張っています。

また、企画財政課では人口を減らさない取り組みとして「移住定住」の政策もやっています。町内には空き家がが増えており、「空き家バンク制度」を設けています。特に子育て世代には補助金を交付するなど、移住定住を推進

しています。また、観光や農業、ふるさと納税なども与謝野町を知ってもらったり来訪してもらおう機会となり、人口減少に対する政策になります。

——これからの人口の目標はありますか。

国立社会保障・人口問題研究所が、2045年までの将来推計人口を公表しています。与謝野町の推計人口は減少傾向となっていますが、その減少幅を少しでも緩やかにすることが目標です。

——町民の皆さんにメッセージをお願いします。

わたしがいる地域協働係は、地域と行政が一緒に対話しながら、今後のまちづくりについて考えています。皆さんと対話をしながら、今後のまちづくりについて一緒に考えていきたいので、多くの皆さんの参加をお願いします。

この記事は、わたしが書きました！

おぎ まさつぐ
尾関 将維 (橋立中2年)

人口減少を抑えるためには行政だけが頑張るのではなく、行政と地域が一体となってまちづくりを進める、また地域の方が自分のまちを好きになり、まちの魅力を発信することが大切だと思いました。役場では広報紙やホームページ、Youtube、Instagram、LINEなどでまちの情報発信を行っています。この記事を読んで少しでも興味を持っていただけたらうれしいです。